

軟式庭球	一般男子	1回戦	沖繩	3-0
バレーボール				
	高校女子	1回戦	和歌山	1-3 保原高
		2回戦	佐賀	3-1 保原高
ハンドボール				
	一般男子	1回戦	愛知	41-9 安積クラブ
ボクシング	高校男子	1回戦	岡山	3-2 福島
剣道	一般男子	1回戦	高知	1-4 福島
卓球	一般男子	1回戦	佐賀	1-4 福島
		2回戦	広島	5-0 福島
体操	一般男子	9位	福島	
ソフトボール				
	高校女子	1回戦	和歌山	4-0 福女高
重量挙げ	一般男子	フライ級	2位	佐々木哲夫
		バンタム級	2位	小松丈夫
		ミドルヘビー級	1位	渡辺泰行
		ヘビー級	4位	渡辺昌幸
		ミドル級	1位	大内 仁
		フェザー級	1位	草野 政
	高校男子	バンタム級	5位	木村健一
		フェザー級	2位	清水敏雄
		ライト級	3位	相川勝美
		ミドル級	3位	生田憲司
		ライトヘビー級	1位	大内 武
馬術	一般	自馬大障害飛越	2位	佐藤伝一
		自馬六段飛越	1位	佐藤伝一
	高校	自馬障害飛越	3位	平沢敏美
			7位	佐藤伝三
		自馬馬場馬術	4位	平沢敏美
弓道	一般女子	1回戦	和歌山	5-6 福島
		2回戦	静岡	3-8 福島
		3・4位決定戦	埼玉	7-6 福島
	一般女子	近的	4位	福島県チーム
庭球競技	高校女子		8位	福島県チーム

5 第21回国民体育大会冬季大会スケート競技会

期日 1月27日～30日
 場所 盛岡市
 派遣人員 14名

本県スケート連盟の実情からスピード競技選手だけの派遣であったが県内に十分なスケート場がないので何れも練習不足が目立った。一般男子長島恵和夫選手は1,500米予選で2位に入ったが、先頭権不足のため失格したので1名の決勝進出もできなかった。

6 第21回国民体育大会冬季大会スキー競技会

期日 2月19日～23日
 場所 旭川市

派遣人員 54名

ここ数年来鋭意選手強化に努力した甲斐あって、久し振りに大回転競技に2名の入賞者を出すことができた。又継走競技にも男子高校と女子が共に善戦して8位に入賞雪国福島のため大いに気を吐いた。又距離競技、飛越競技共に全国的レベルに達しており対等に競技したが僅かの差で入賞を逸した。特に本県は若手選手が活躍したので将来に大きな希望をもつことができた。

総合成績 11位
 大回野競技 少年組 7位 遠藤勇一
 教員組 5位 小池紀夫
 継走競技 高校男子 8位 福島県チーム
 女子 8位 福島県チーム

7 第1回福島県実業団スポーツ大会

期日 11月6日～7日

場所 福島市

参加人員 38事業所 約 500名

本県スポーツ振興上盲点となっている実業団スポーツの振興をはかるため、この大会を開催したところ関係者が強い関心を示して、初めての大会であったが、予想外に参加者多く多大の成果を収めて無事終了した。各競技種目の優勝は下記のとおり。

陸上競技	陸上自衛隊郡山駐屯部隊
バレーボール	呉羽化学
柔道	陸上自衛隊郡山駐屯部隊
剣道	玉川金属
ソフトボール	男 陸上自衛隊郡山駐屯部隊
	女 福島交通
軟式庭球	福島教員
サッカー	三菱電機
ラグビー	陸上自衛隊郡山駐屯部隊
卓球	男 福島電々公社
	女 東亜栄養
バドミントン	国鉄郡山駅

8 第15回青森・東京間駅伝競走

期日 11月8日～14日

区間 青森～東京 55区 787.9軒

参加人員 22名

第15回青森・東京間駅伝競走大会には本県の最強力メンバーであった円谷幸吉・佐藤克典選手等の他県移籍により本年はやや弱体と思われたが、年間数回の強化合宿によって培われた精神力と若手高校選手の田中安徳、常盤角次等の活躍によって、昨年の本県の記録を14分余上回る42時間15分57秒の記録で第6位を占めて長距離福島のため万丈の気を吐いた。

9 三笠宮杯第15回東北一周自転車競走大会

期日 8月17日～22日

区間 仙台～盛岡～青森～秋田～山形～福島～平～仙台 1,215.9軒